

## 第4回 気づきのレベルアップ（その4）

2005年9月27日

有限会社 マネジメント・ダイナミクス

小倉仁志

[jin-ogura@management-dynamics.co.jp](mailto:jin-ogura@management-dynamics.co.jp)

痛くなってからだが遅すぎるのが、病気。  
機械の故障や業務のトラブルも同じこと。  
機械も業務も、早めの健康診断（総点検）で、トラブルの芽や源をつぶしておこう。

先日、医者との話でのこと。

その医者の知り合いの医者が、頭が痛いといっていたが、検査してみると、脳に腫瘍ができており、それは肺に発生した癌からの転移であることがわかったとのこと。

さらに症状は悪化し、3ヵ月後には全身に癌が回ってしまい、最終的にはなくなってしまったとのこと。

ほとんどの医者の場合、患者には健康診断を勧めるが、自分の健康診断は全くやらないとのこと。

私はこれを聞いたとき、私たちが扱っている機械や業務にも同じことが言えるのでは、と思いました。

皆さんにも、以下のような体験ありませんか。

目に付くトラブルが発生した時は、「時すでに遅し」で、機械の場合にはその後何日も止まってしまう故障が発生したり、業務の場合は顧客からのクレームの多発や、競合会社に先を越されていたなんてことが結構あるのではないのでしょうか。

こうならないためにも、機械や業務についても、長年使っていると色々と不具合が発生してくるものです。

それを早期発見するためにも、定期的に機械や業務の総点検を自分たちで実施してみましよう。

その取り組みによって、気づきレベルもアップしてくるでしょう。

ただし、機械を見る目や、業務を見る目が養われていないと、なかなか不具合を見つけ出すのは難しいものです。

最初の内は、その道の専門家にご教示いただくほうが良いでしょう。

その際には、ぜひ当社にもご連絡いただければ幸いです。